令和3年度 豊田市青少年赤十字担当者研修会

イラストで理解する 新型コロナの感染対策@2021年夏



2021年8月3日(火)

◆ 日本赤十字豊田看護大学 下間正隆 (Infection Control Doctor)



本日の内容

- (1)人の心と感染拡大
- (2)日本赤十字豊田看護大学の
- (3)ワクチン接種事業への取り組み
- (4) ワクチンについて
- (5)コロナに感染しないための行動
- (6)身の回りの消毒
- (7)コロナ対策の順番





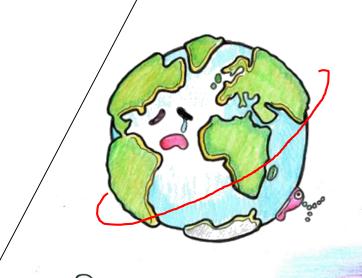
人の心と感染拡大



感染対策は、「人の心」への対策でもあります

~2019年

天下泰平 の時代



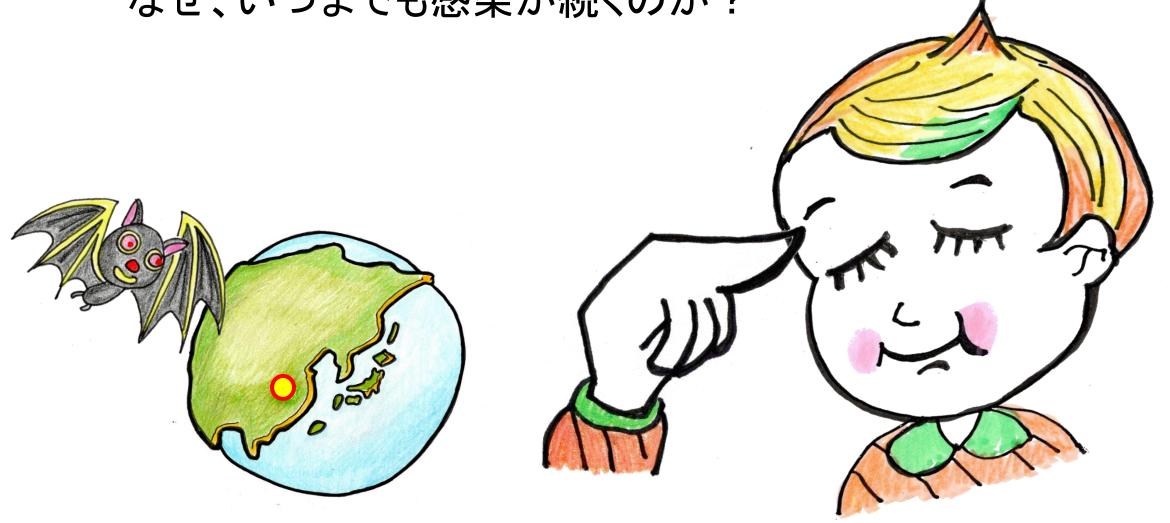
2020年~

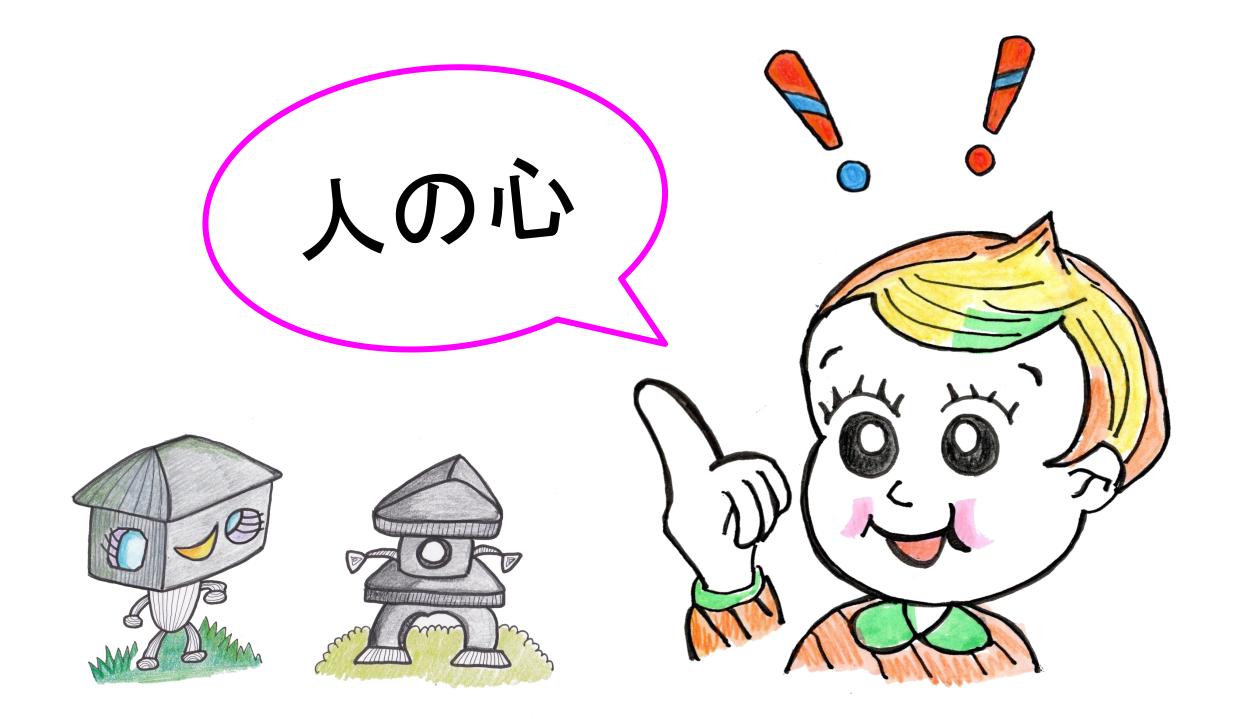
コロナの時代





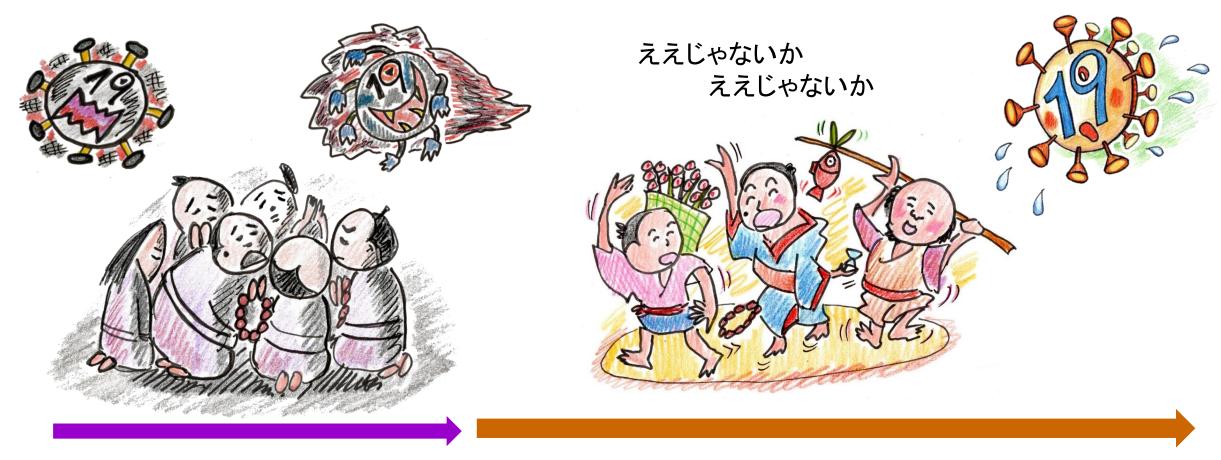
新型コロナのふるまいは、解明されているのに なぜ、いつまでも感染が続くのか?





恐怖心

慢心



第1回 緊急事態宣言の頃 2020年春

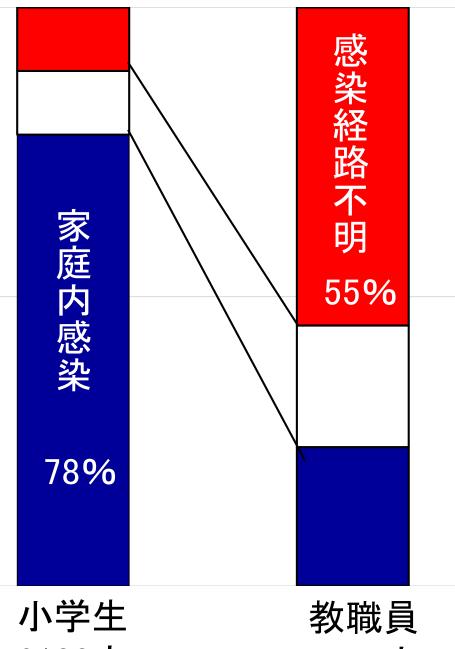
第1回 緊急事態宣言解除~現在

感染経路

2020年6月 ~2021年4月

小学生の78%は 家庭内で感染 している

家庭内感染は 避けることのできない 一面がある



大人の55%は 感染経路不明

6183人

2382人

文部科学省

『学校における新型コロナウイルス感 染症に関する衛生管理マニュアル』 2021.4.28 Ver.6

感染経路不明者の真実

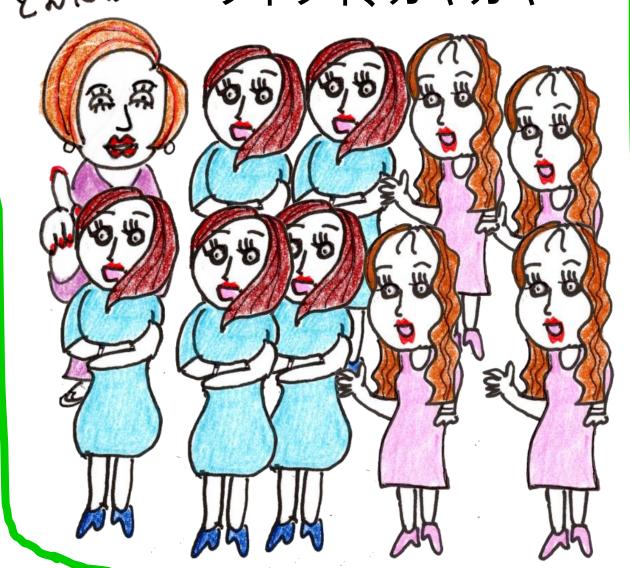
2020年6月、さいたま市のキャバクラ店で、クラスターが発生



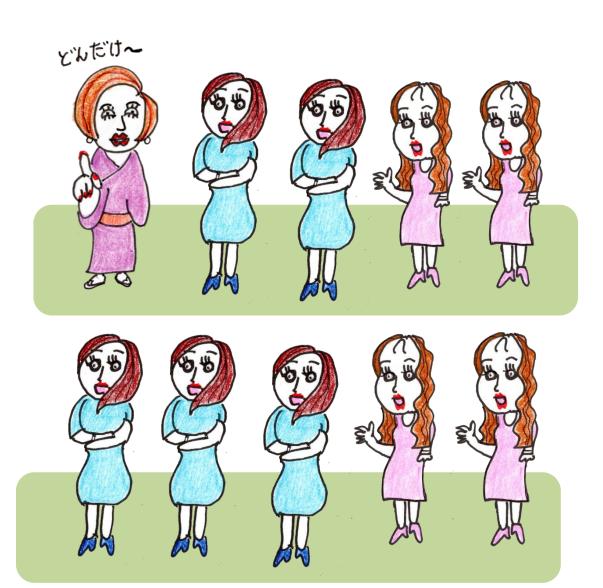


参考:埼玉新聞 2020年7月3日

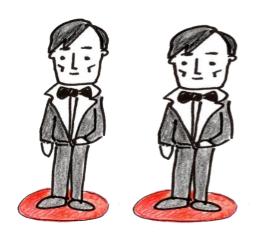
狭いスタッフルームで どんだけ~ ワイワイ、ガヤガヤ



女性従業員 10人陽性



男性従業員 2人陽性

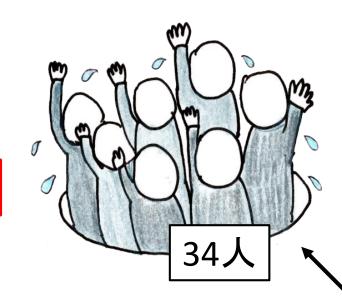




名乗り出た34人中3人が陽性

→ 陽性率10%

客 3人陽性



推定される濃厚接触客は、300人

客は30人程度 感染している可能性がある

残り27人の感染者は 「感染経路不明」の扱いとなる



「コロナ問題で報道される写真」に、小学生は一人も写っていません



大阪: 道頓堀の戎橋

日本経済新聞 2020年7月29日



東京

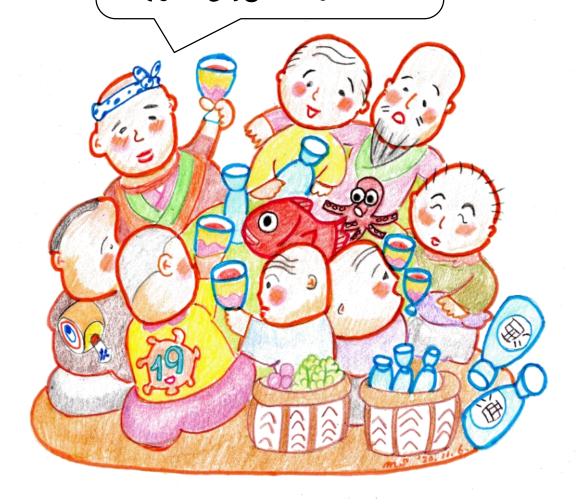
NHK ニュース 2021年4月24日 子供は、修学旅行や運動会など、 その時にしかできないことをあきら めて、毎日、我慢して過ごしている



NHK ニュース 2020年8月31日

一方で、大人たちは・・・

感染経路不明に かんぱーい!

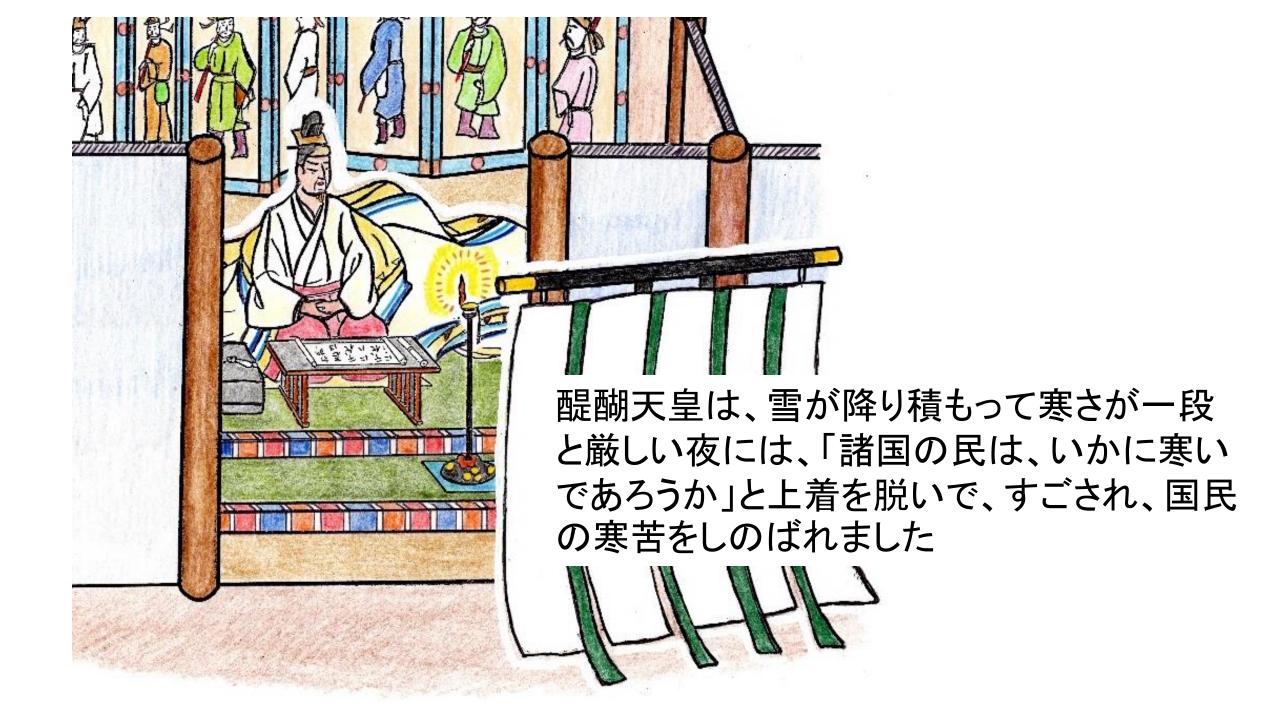


2021年7月8日 東京

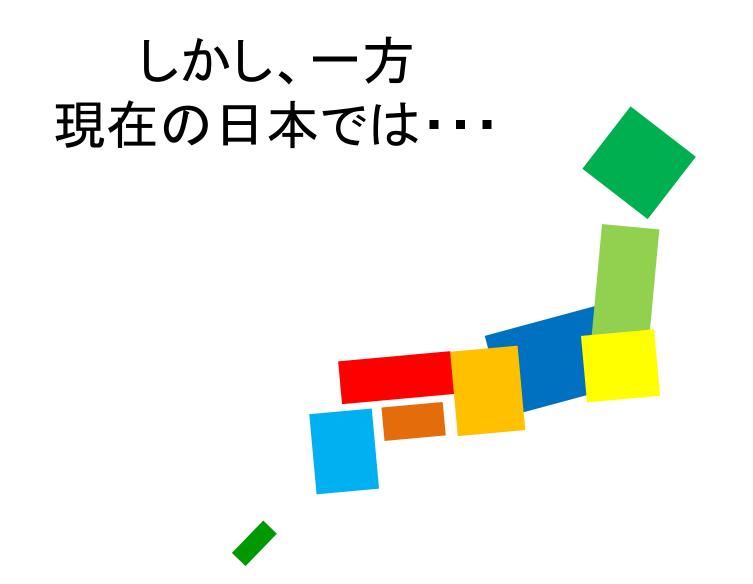










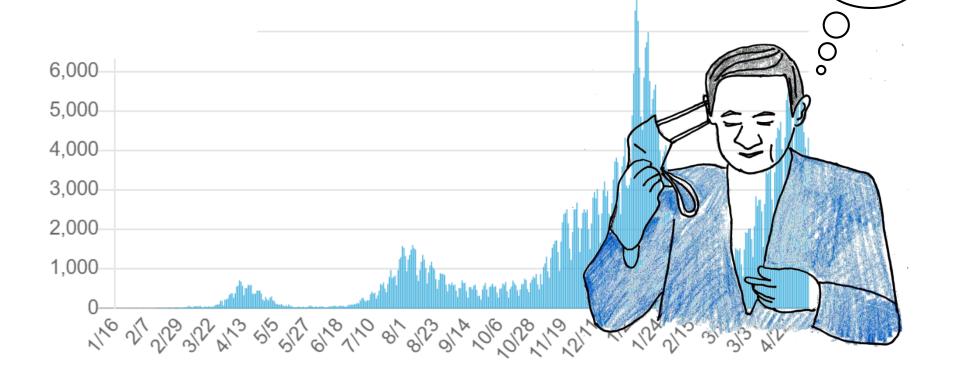




感染対策は、「人の心」への対策でもあります。 リーダーは人の心に、安心や希望を与えなくてはなりません

「国民の心」に共感を呼ぶメッセージを発することなく この国は、どうなってしまうのか?という 不安を与えるだけの政治であってはならない

運動会は禁止だが オリンピックはする



感染対策は、まさに

「人の心」への対策でもあります



日本赤十字豊田看護大学 における ワクチン接種事業への 取り組み







5月から、毎週日曜日、大学を接種会場として1000人の市民の方にワクチンを接種しています



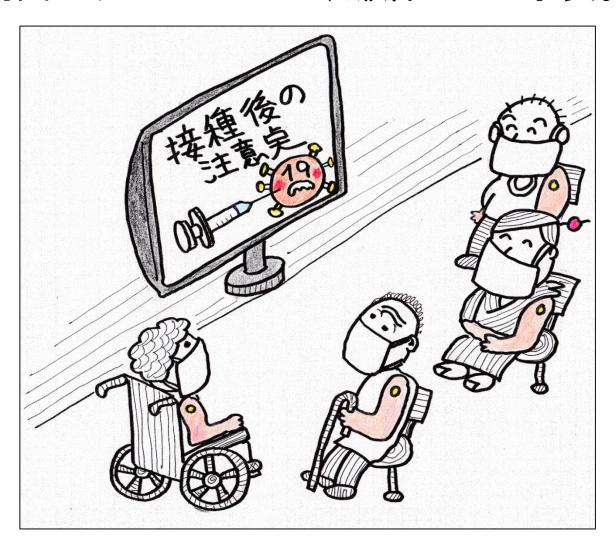
座り心地が良いので 緊張が ほぐれるなあ~



学長室のイス



市民の方は、接種後に観察室で、大学が制作した動画を 15分間、視聴してから帰宅しています。 動画のナレーションは、鎌倉やよい学長。

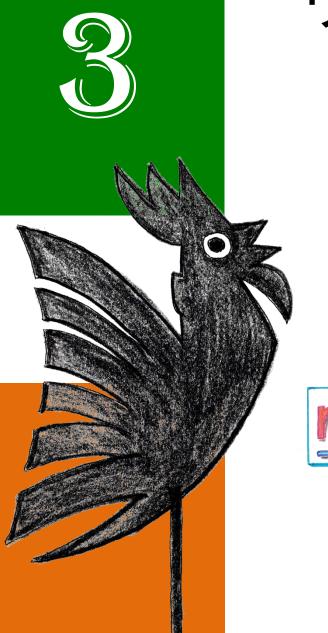


イラストで理解する 新型コロナウイルスの感染対策



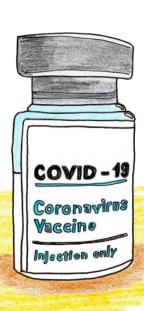
制作 + 日本赤十字豊田看護大学

ワクチンについて







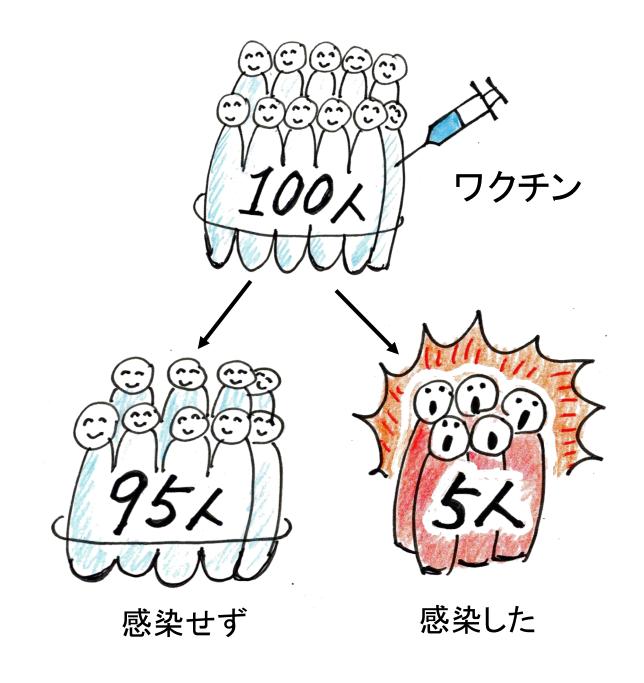




有効性95%とは・・・



残念ながら → こういうことではない



大雑把に いえば・・・ 生理食塩水 2万人

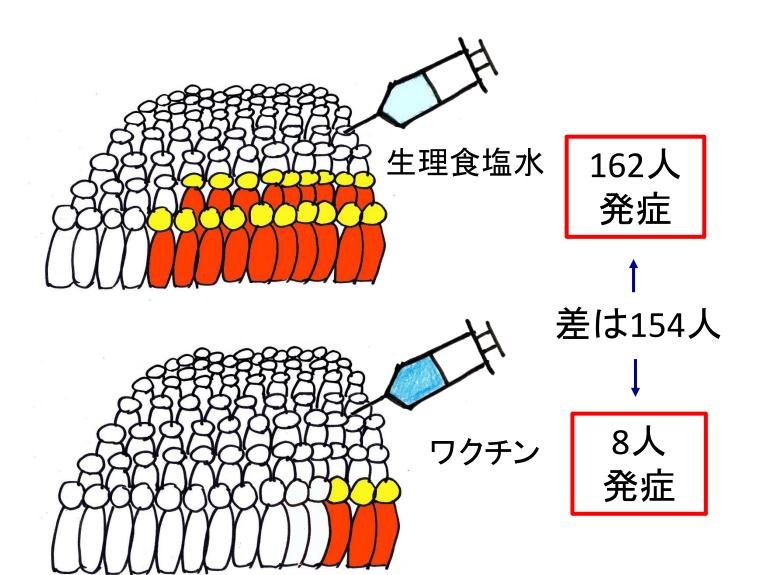
162人 発症

20:1

発症率が 95%少なかった

フクチン 2万人 — 2万人 —

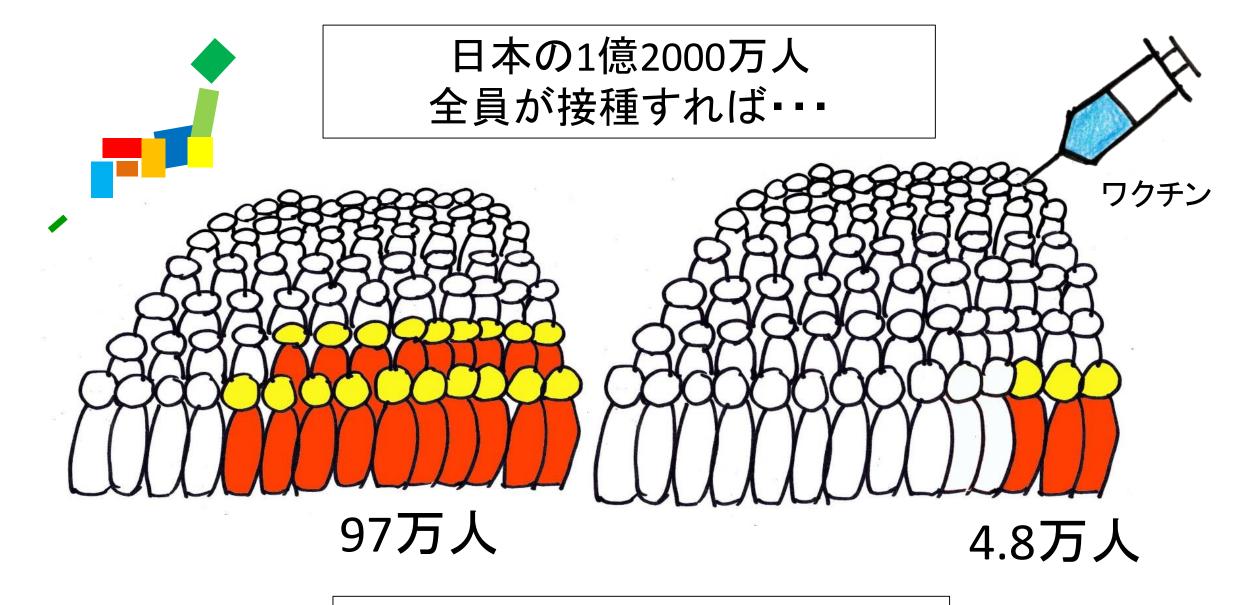
8人発症



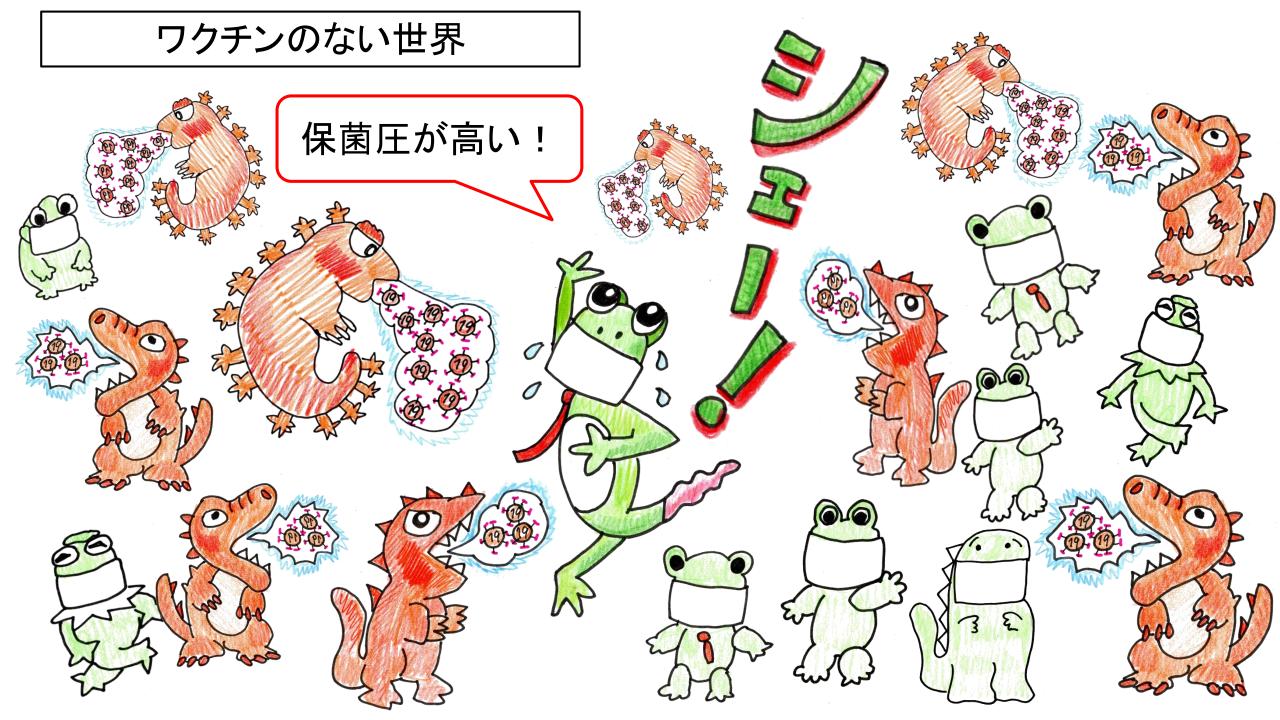
個人の免疫の 観点からみれば・・・

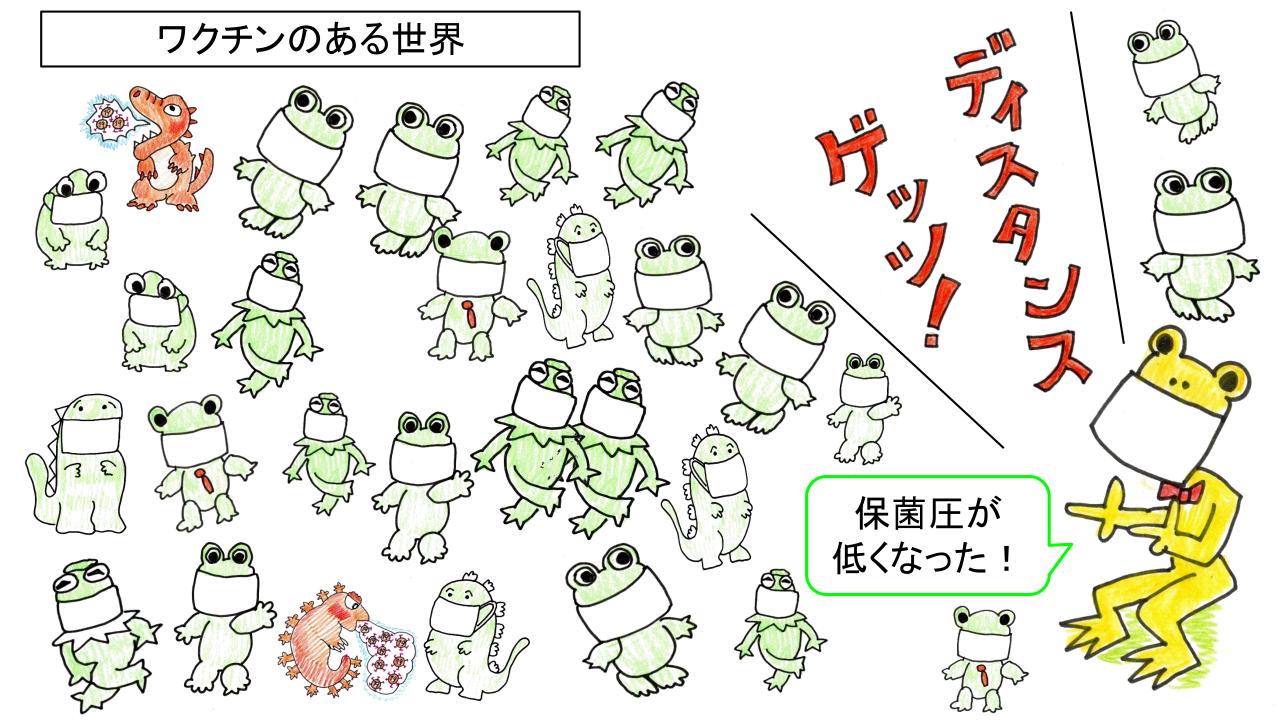
154人/2万人=0.8%

ワクチンを打って メリットのあった人は 0.8%だけ

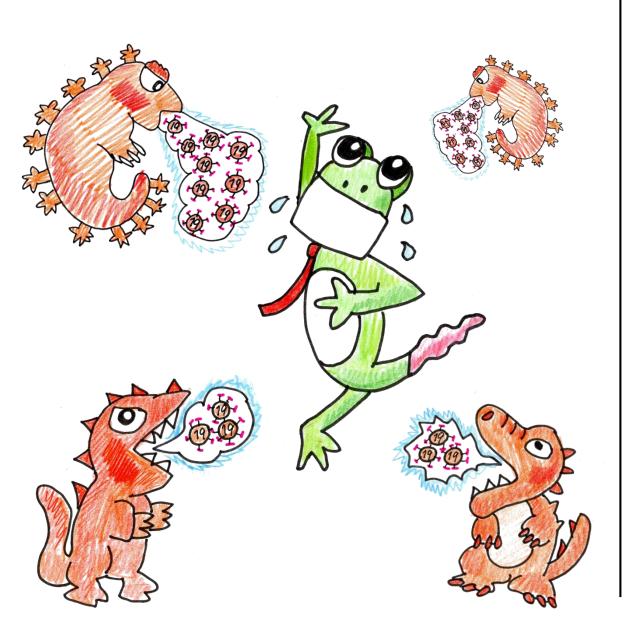


発症者が92万人減る



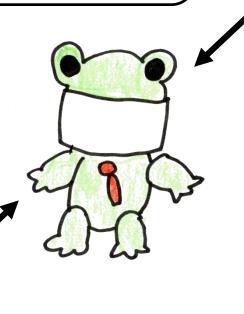


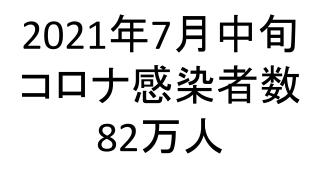
ワクチンのない世界

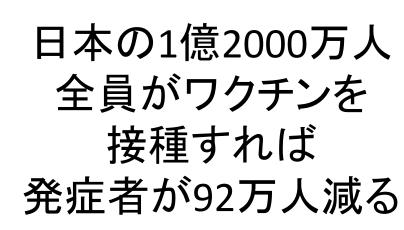


ワクチンのある世界

感染者数の減少が 実現すれば 距離をとることができます



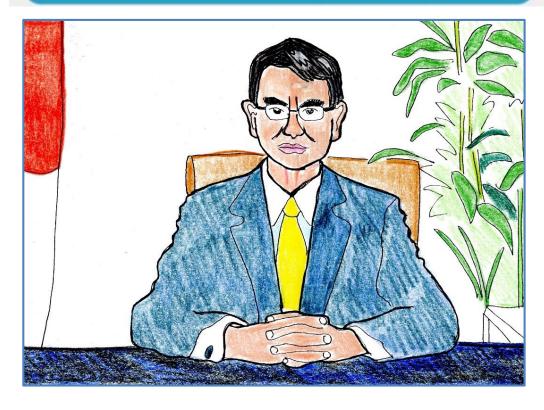




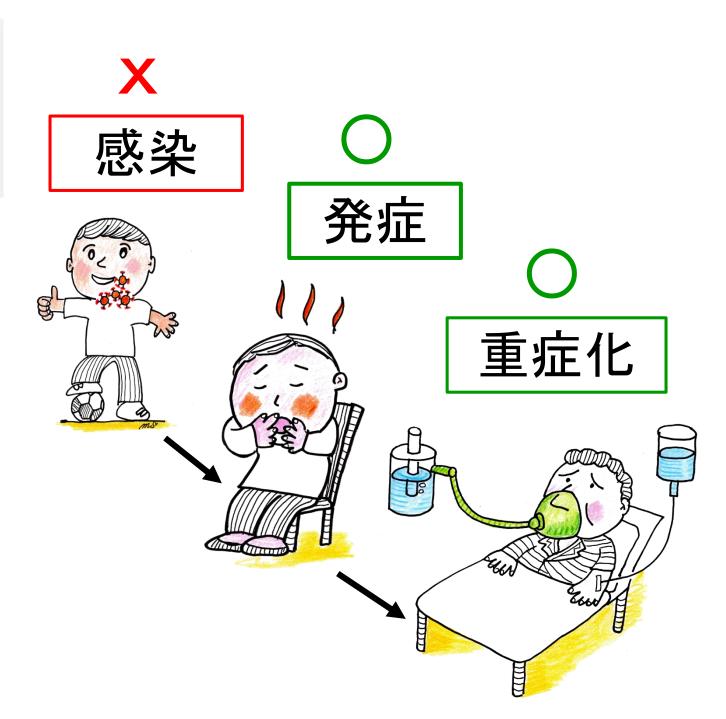




主に発症や重症化の 予防が期待されてい ます



首相官邸ホームページ 河野太郎ワクチン担当大臣

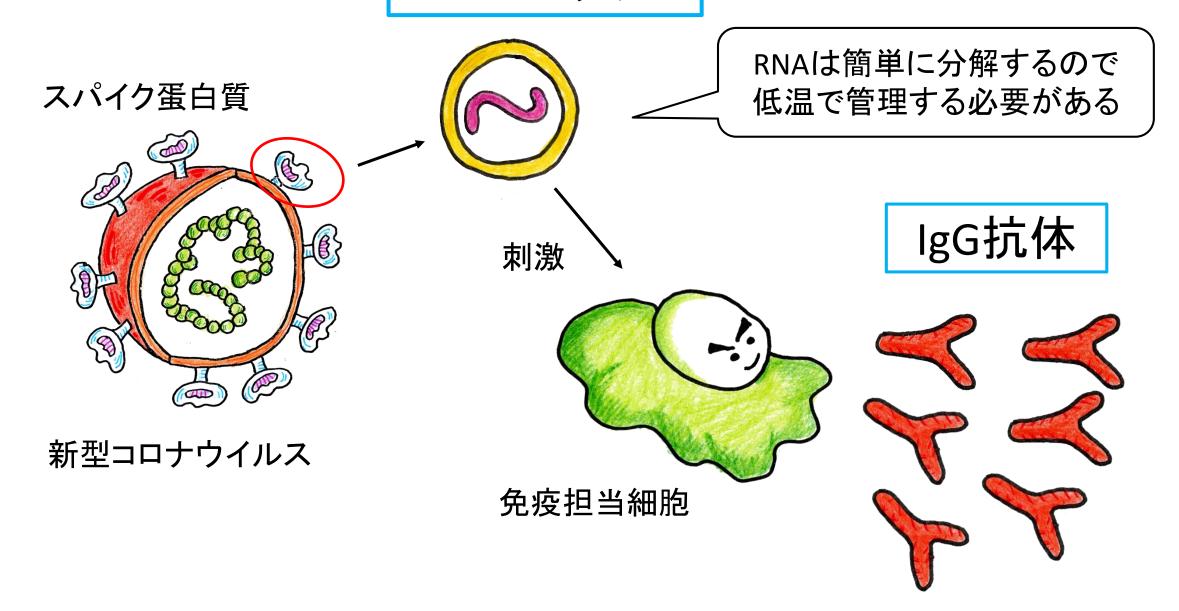




なぜ? 感染を予防できない のだろう・・・?

「コミナティ®筋注」

mRNAワクチン



感染の予防

発症の予防・重症化の予防



IgA抗体 で予防する

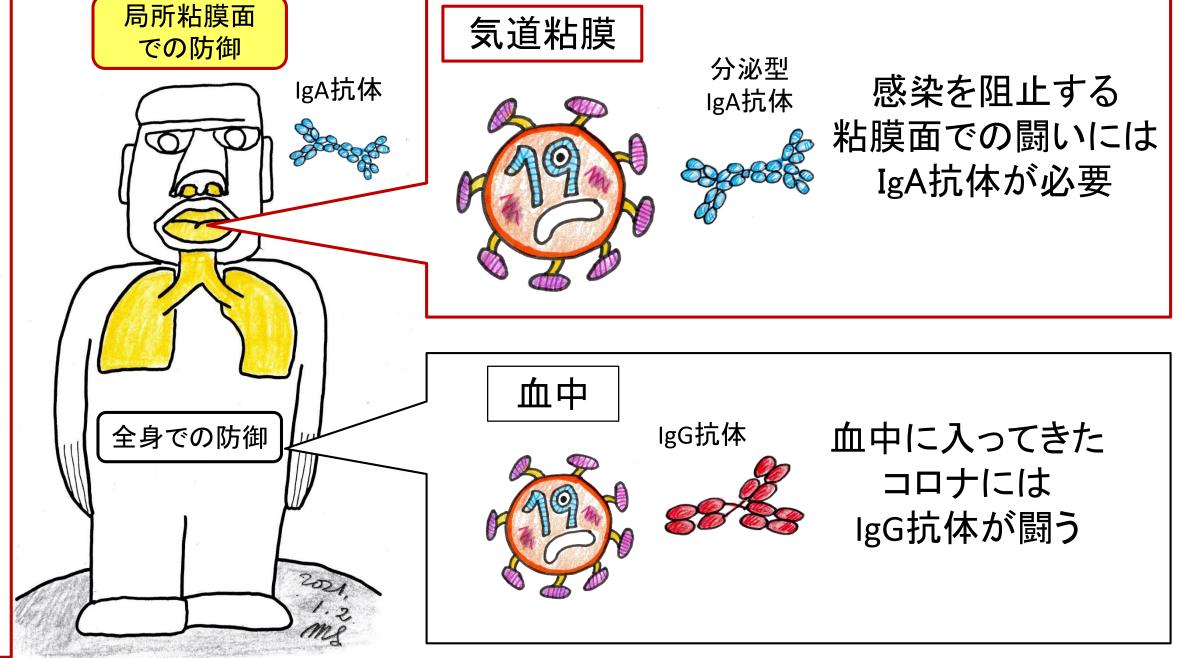


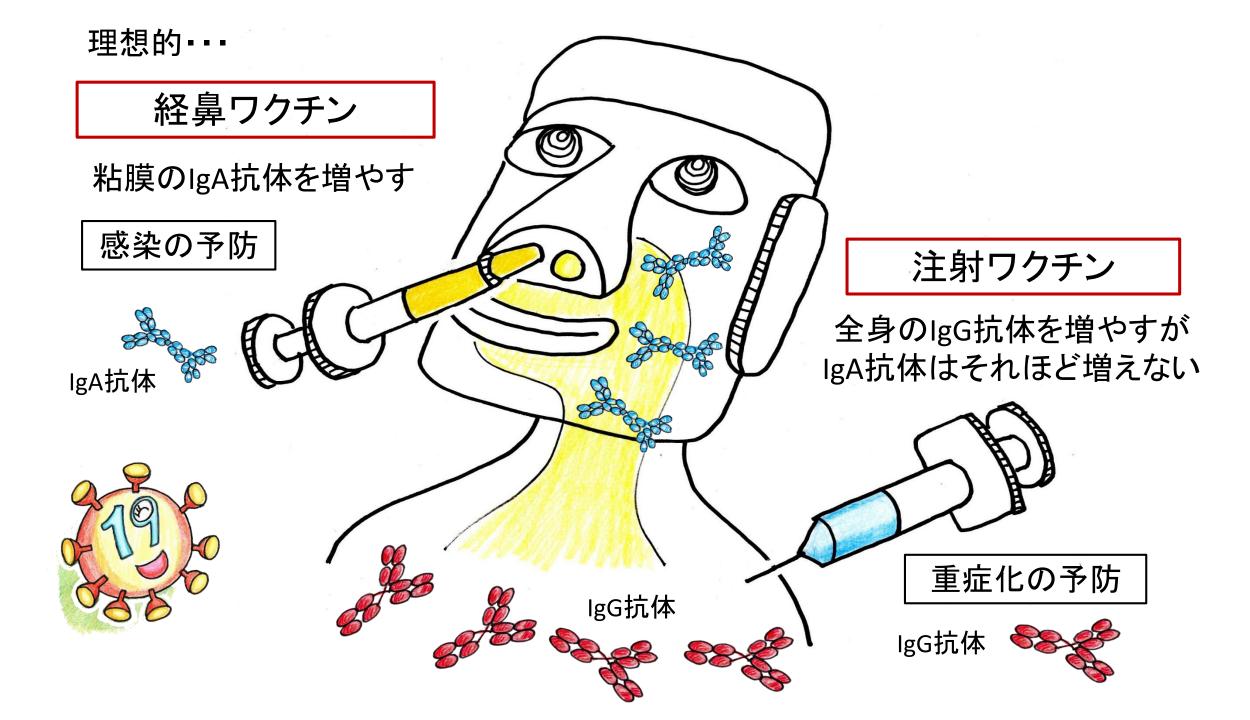
IgG抗体 で予防する







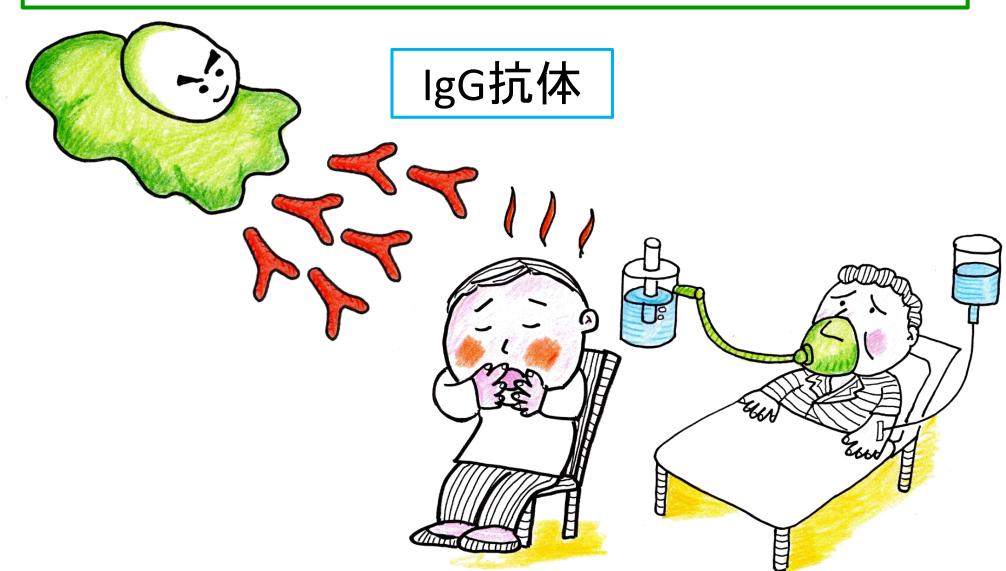




感染

発症や重症化を予防する



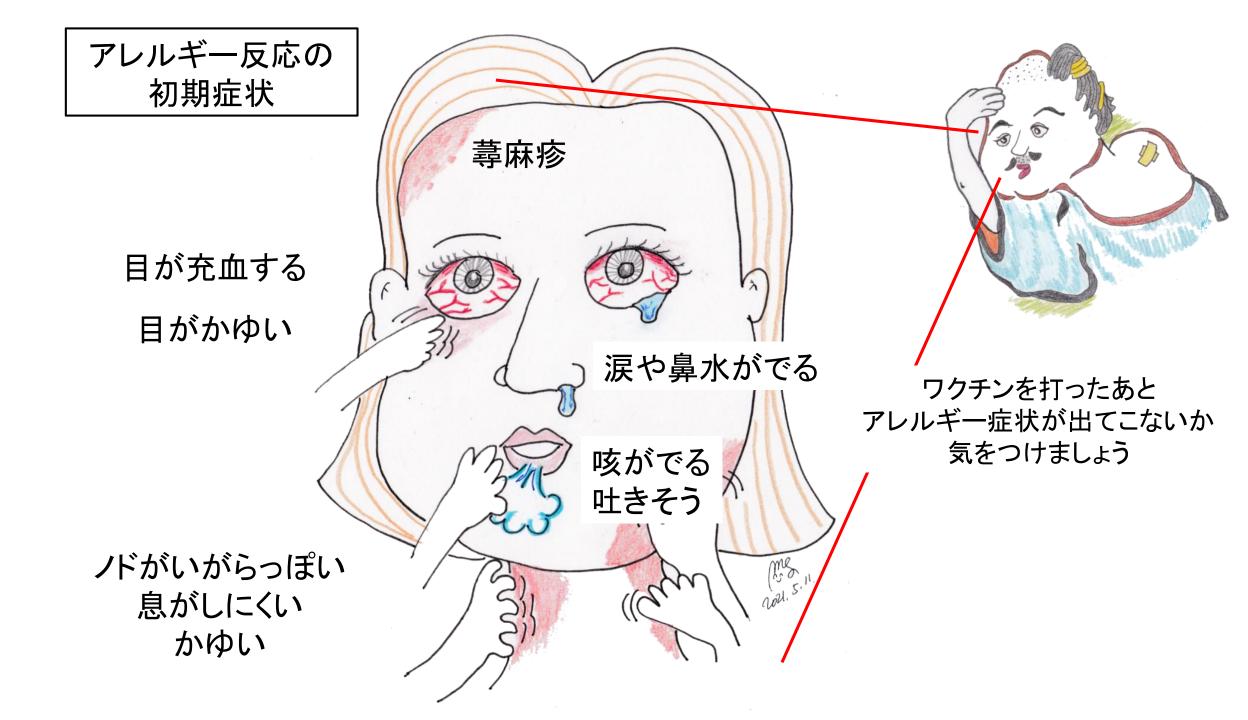


	mRNAワクチン	
	Pizer	moderna
	① 市町村での集団接種 ② 医療機関での個別接種	① 大規模接種(東京·大阪) ② 職域接種
発症予防効果	95%	94.5%
副反応 厚生労働省 2021年6月9日	1306万回接種 (~5月30日)	9万241人接種(5月24日~30日)
	アナフィラキシー 169件 7万7300回に1回	17人(49~96歳) 発疹や動悸、めまいなどの症状 5300回に1回
		アナフィラキシ一報告はない

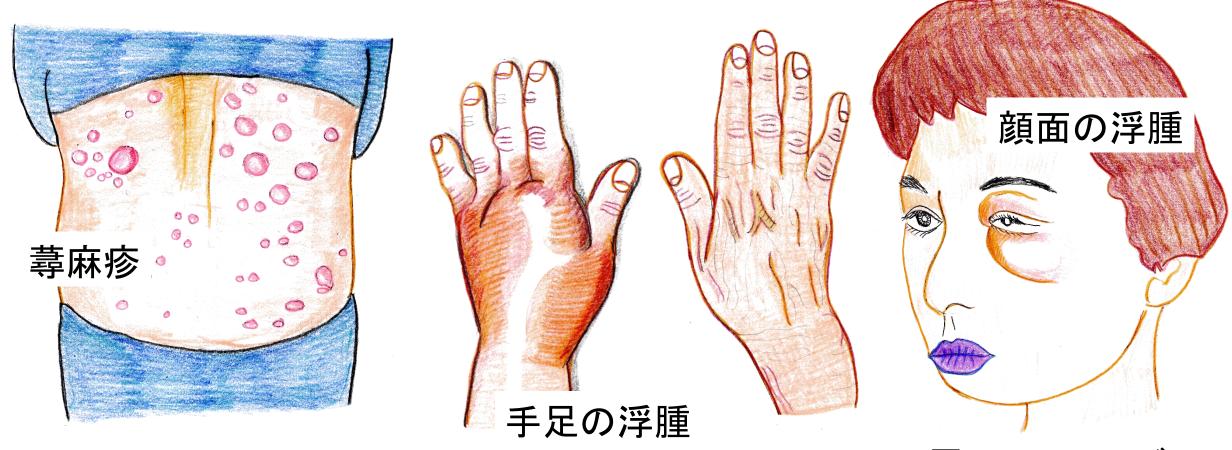
副反応(%) 一回目→二回目 ※ 国内治験・概略	Pizer	moderna
注射部位の痛み	87 → 79	83 → 85
発熱	14 → 33	2 → 40
頭痛	33 → 44	13 → 48
疲労感	40 → 60	19 → 63

т

т



アナフィラキシー症状(アレルギー症状)の例



ロ唇のチアノーゼ (血液中の酸素濃度の低下)

「注射針一体型」の注射器にアドレナリンが充填されたキット製剤

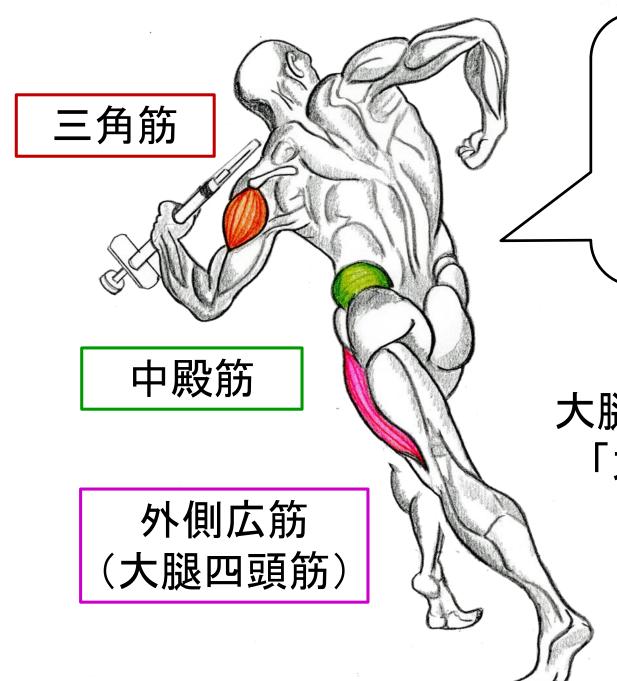


エピペン® (アドレナリン自己注射製剤)

アドレナリン(副腎髄質ホルモン)

- ①心臓を刺激、末梢血管を収縮して、血圧を上昇させる
- ②気管支拡張作用、粘膜浮腫改善作用
- ③アナフィラキシー症状を引き起こす体内物質の放出を抑制する

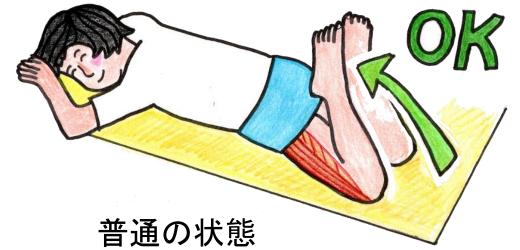




世界のワクチン接種は 筋肉注射が標準です。 筋注部位は 3ヶ所、あります。

日本では、昭和40年代に 大腿への頻回の筋注が原因となって 「大腿四頭筋拘縮症」が多発した 歴史があります。

大腿四頭筋拘縮症



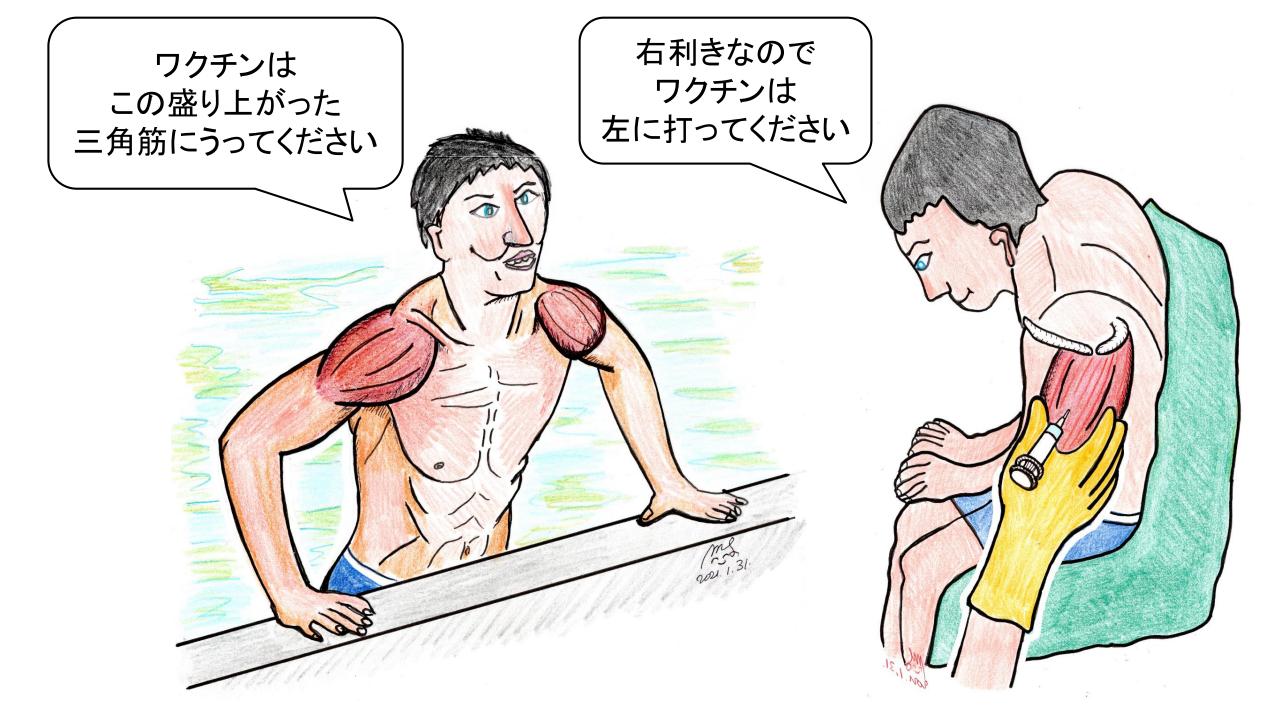
かかとがお尻につくまで膝

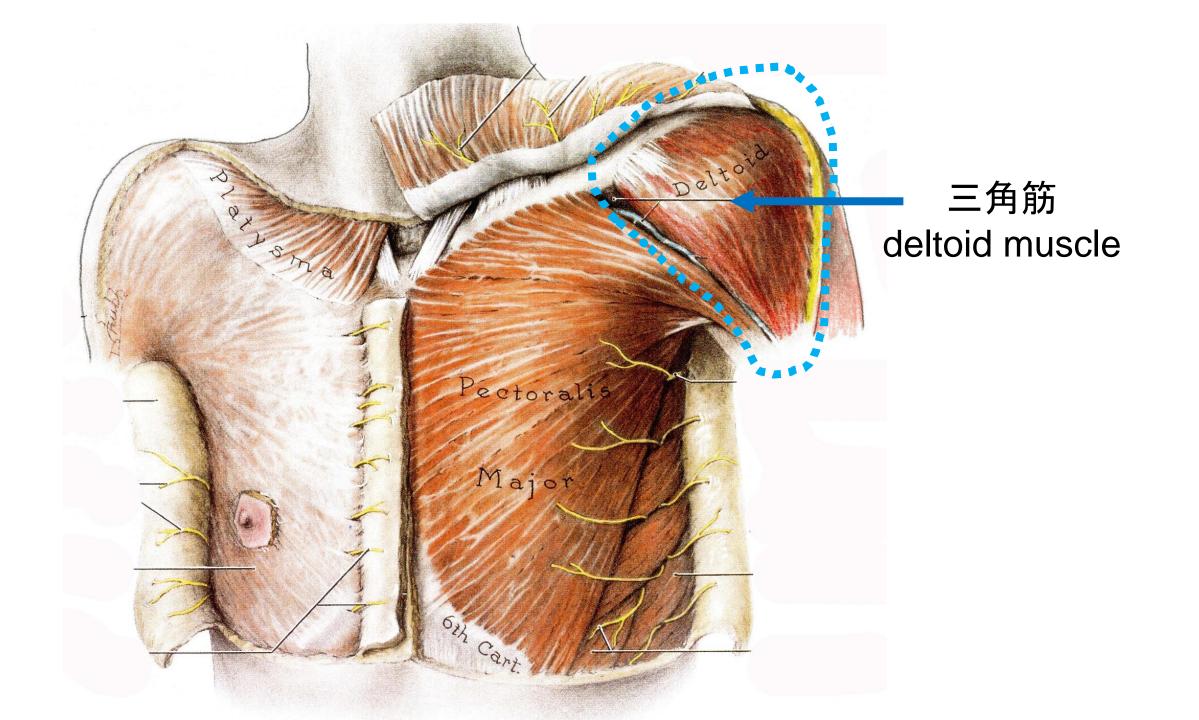
を曲げることができる

日本では、1970年代に、乳幼児期に大腿前面へ抗菌薬や解熱剤を頻回に筋肉注射したことが原因で筋肉が硬くなり、正座できなかったり、歩行障害などがでる「大腿四頭筋拘縮症」が全国各地で確認されて以来、日本でのワクチン接種は、皮下注射が原則となっている。

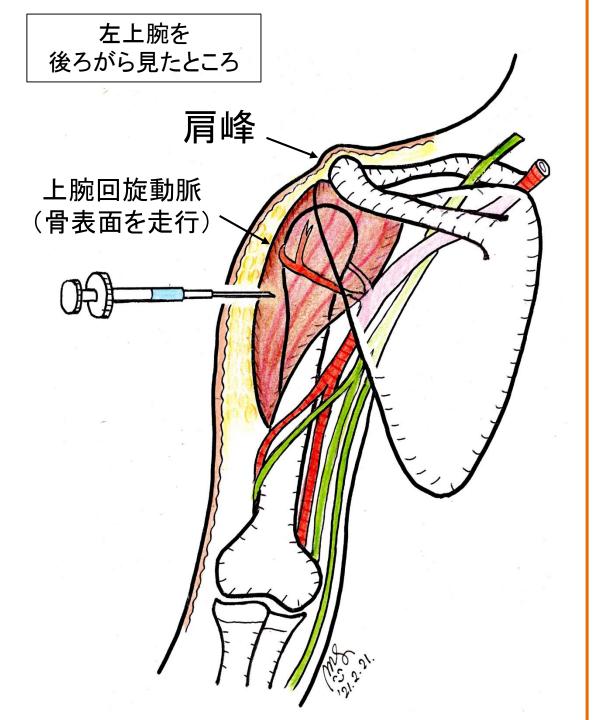
なお小児期に定期接種(公費負担)するワクチンは10種類 ある(2020年10月現在)。

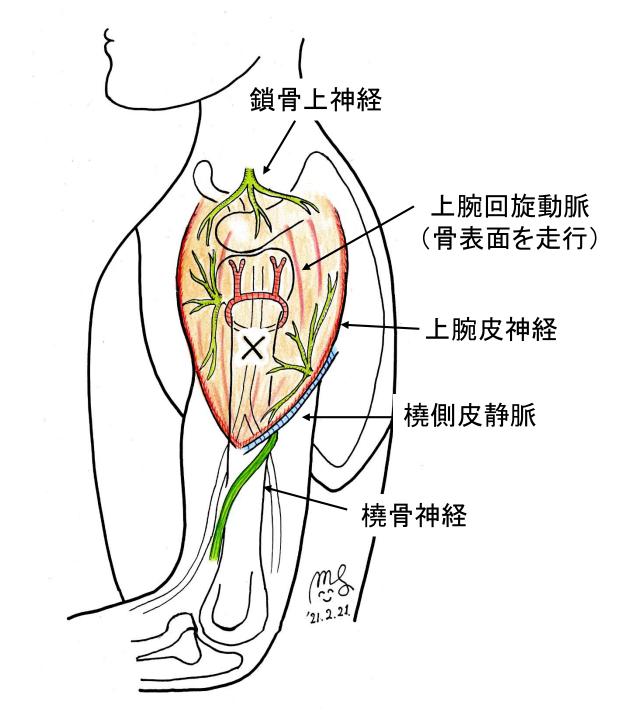


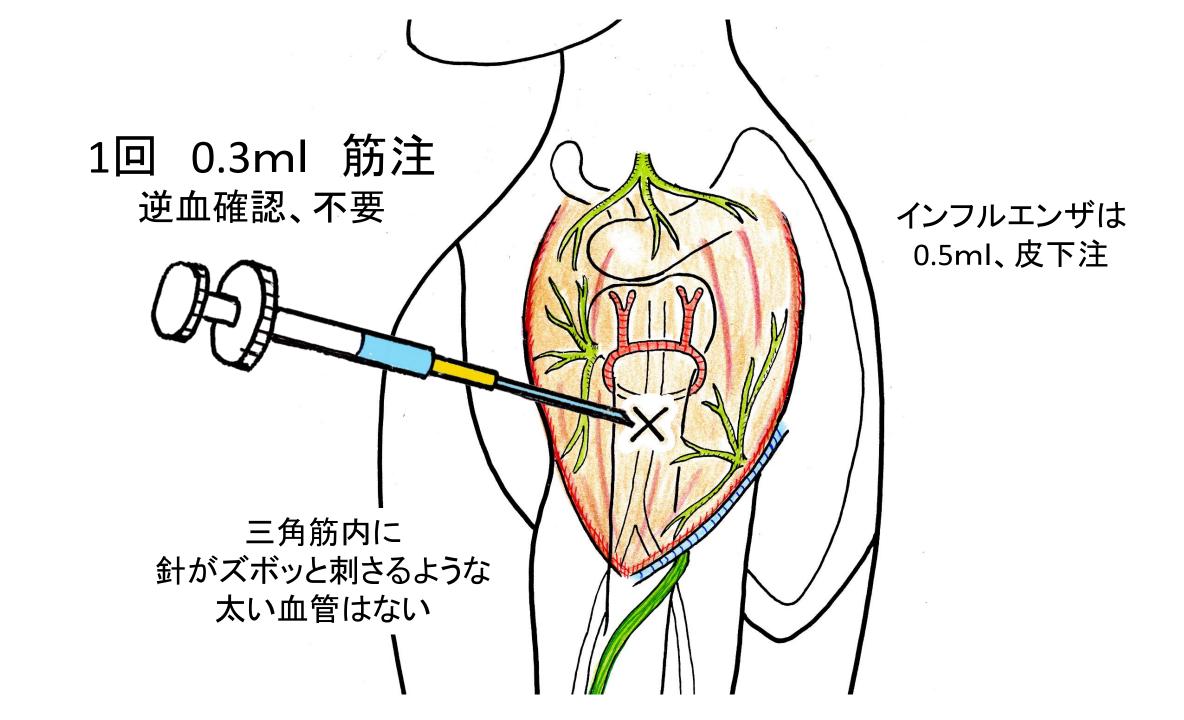




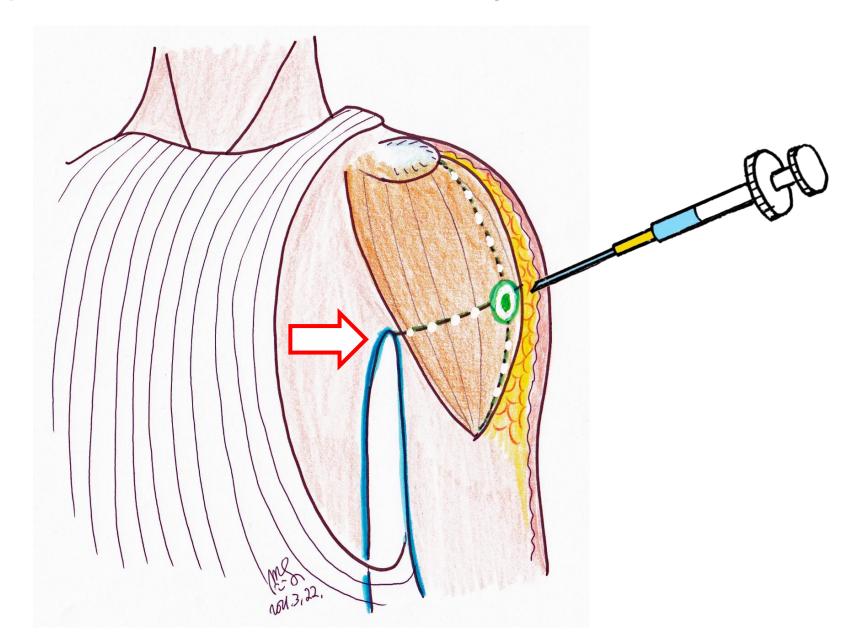




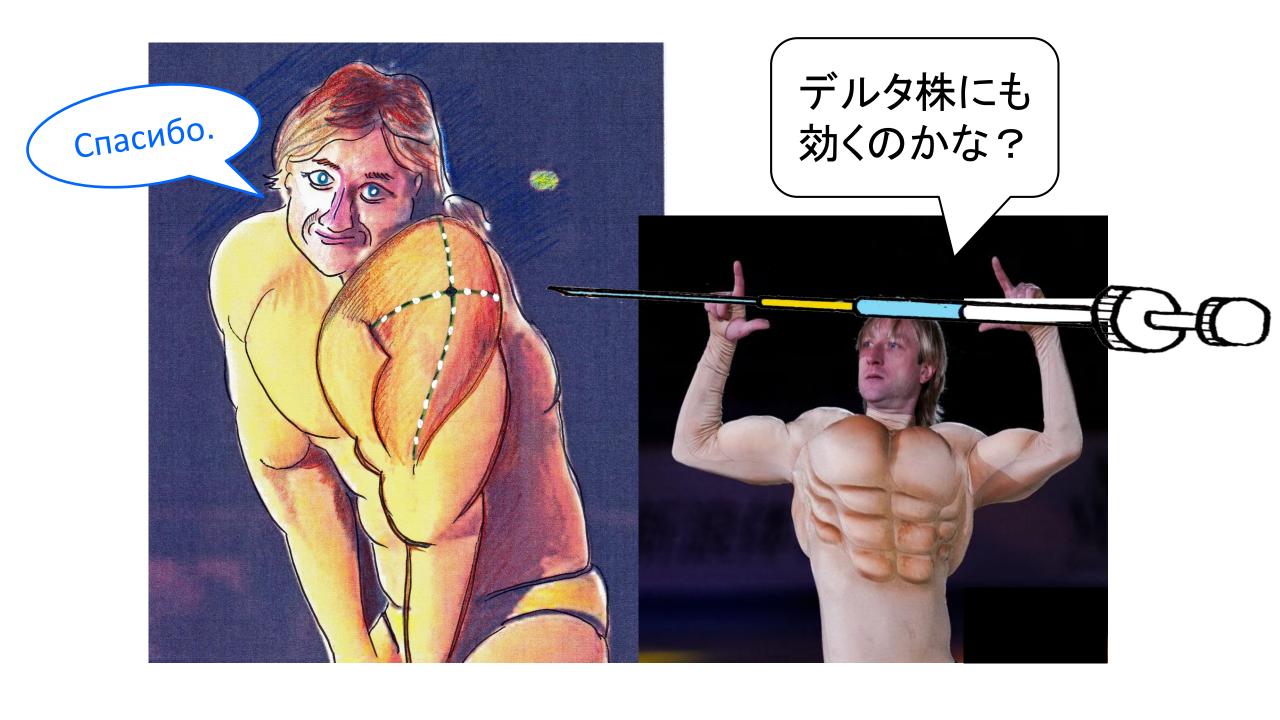




高さの目安は・・・脇の下の線







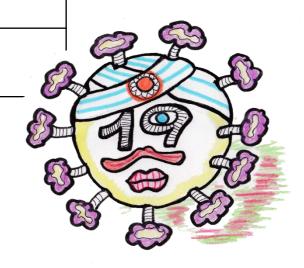


2回接種後の発症予防効果

イギリス株 インド株 アルファ型 デルタ型

93%

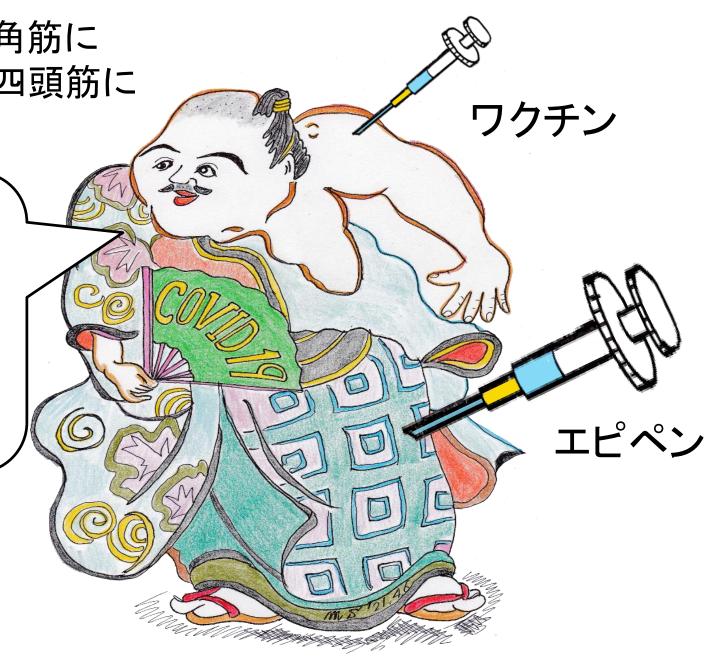
68%



イギリス政府 2021/5/22 ワクチンは、三角筋に エピペンは、大腿四頭筋に

ワクチンを打っても 感染する可能性があります。

ワクチンを打っても マスク、手指衛生、換気 が引き続き大切です。

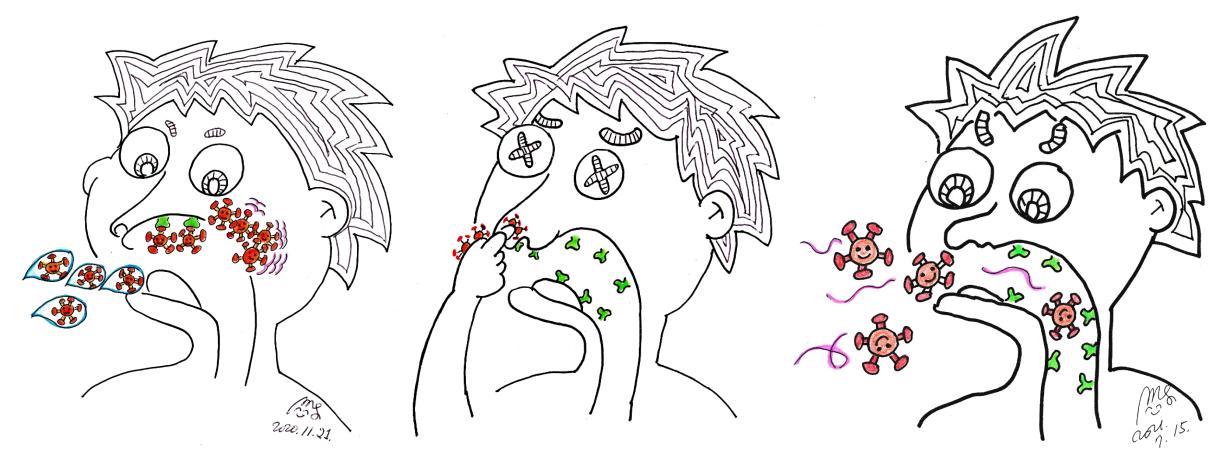




コロナに感染しないための行動

- マスク
- 手指衛生
- 換気

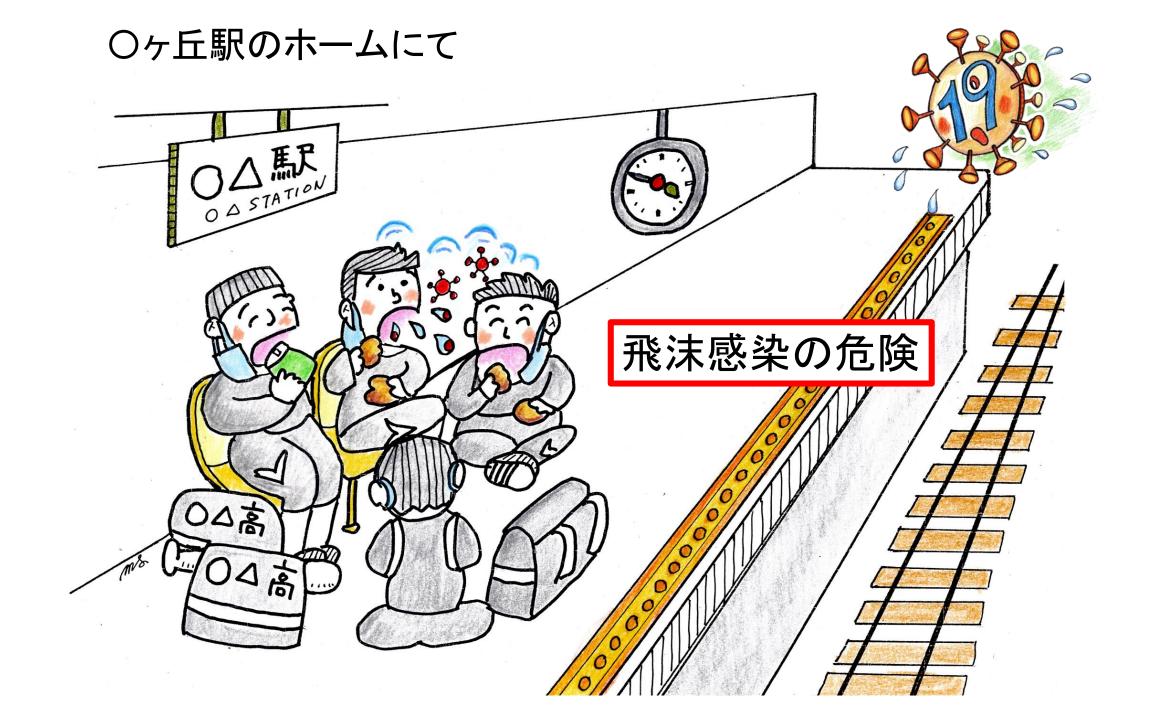
コロナが、粘膜のレセプターにひっついて、感染する

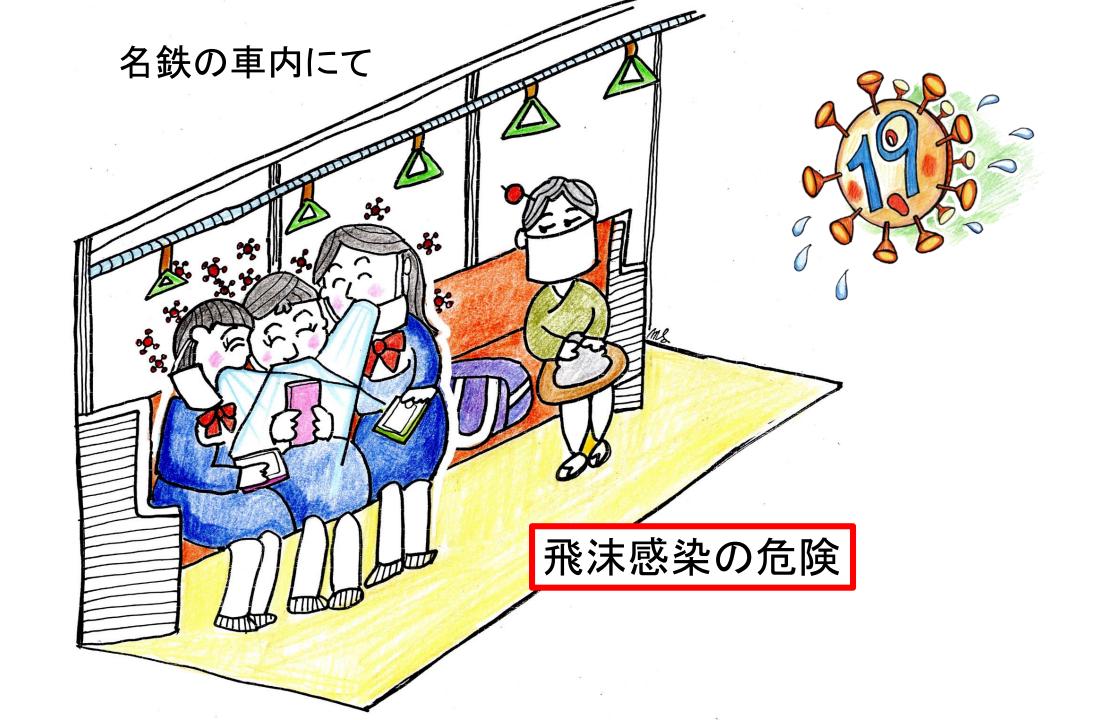


飛沫感染

接触感染

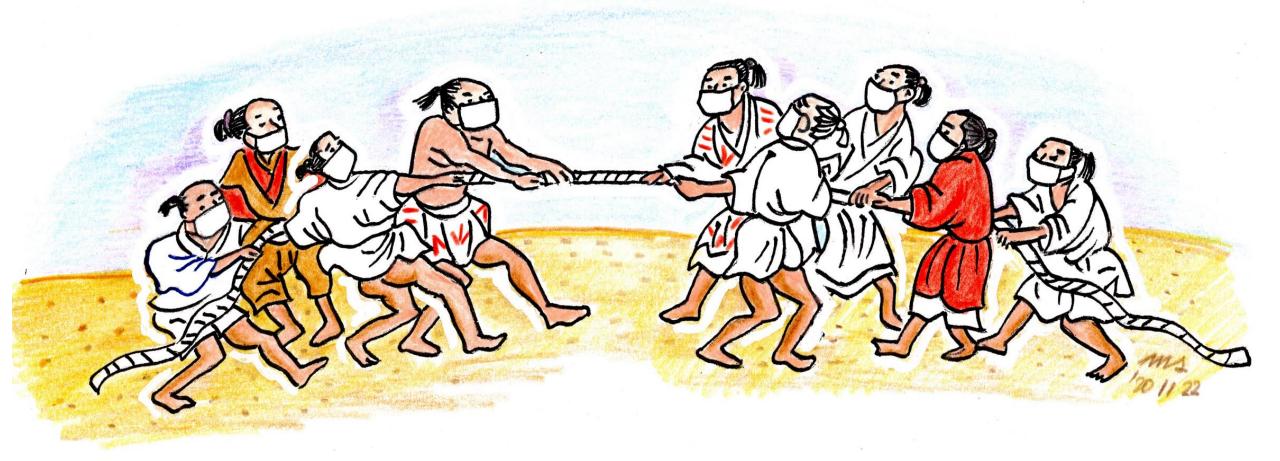
マイクロ飛沫 エアロゾール による感染





マスク

人との距離がとれない時は、マスクをする



洛中洛外図屏風 (上杉本)



猛暑の中を 登校する小学生

2020年8月17日 東京新聞 冷房のよく効いた 室内で、無邪気に 気勢をあげる 政治屋たち



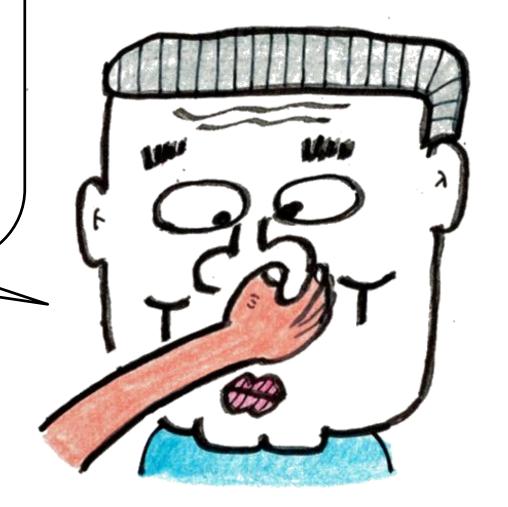


黙って食べる

鼻や目、口の粘膜を触る前に手指衛生する



手の平をこすることも大事ですが 鼻の中に指を入れる 目をこする 口に指を入れる などの行為を考えれば もっと、指先、親指を意識する ことが大事です



An evaluation of handwashing techniques-1

L. J. Taylor, SRN, SCM

ciency of the rechnique, apart from ection, has rarely been studied

Hand disinfection by ward staff with of the palm. alcohol is generally effective (Ayliffe et al., 1975). In some instances a large number of organisms survived this treatment, suggesting that the stethed of application was inadequate This was confirmed in laboratory

using the same technique but with the addition of a dye to 70% alcohol. This revealed that one of the surse volumteers failed to cover the tip of her thomb with the solution (Babb et al. 1977) The use of a dye for investigat ing the efficiency of applying disinfect ants to the hands has been described previously (Reher, 1976), but this technique has not been used to any extent

The Midlands Regional Group of the Infection Control Nurses Association decided to study the handwashing techniques of all grades of nursing staff in the schools of nursing and the wards, using the dye method.

A saturated solution of the die war prepared by dissolving Edicol (available from ICD in 70% alcohol. Five millilitres of the solution were poured onto the cupped hands of a volunteer. who closed her even and 'washed' her

where the hands were not covered by the dye were marked onto charts. A total of 129 handworker were carried out by the various erades of staff

method of preventing the spirad of some parts of the hand surface, 56% missed part of the thumbs, 28% missed the back of the fingers, 24% missed the back of the hands, 16% missed an area between the fingers, and 16% an area

med booth hands Seven

than 70 seconds.

All observers reco hunded nurses 'washed' the left his record was kept as to whether so teers were left- or right-handed,

Fig 1. Distribution of areas missed during hardwashing

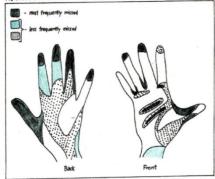


Table 1. Time taken for handwashes using the dire by all grades of staff

	SAN	SEN	Learner	Austiery	Total
Number of Observations	23	12	86		129
Variation in time taken in seconds	9-120	14-60	7-120	10-30	5-120
Median time in seconds	- 12	20	24	18	20

JANUARY 12, 1978

stention. The analysis well, but that state enrolled

the dist 'handwash' was regarded

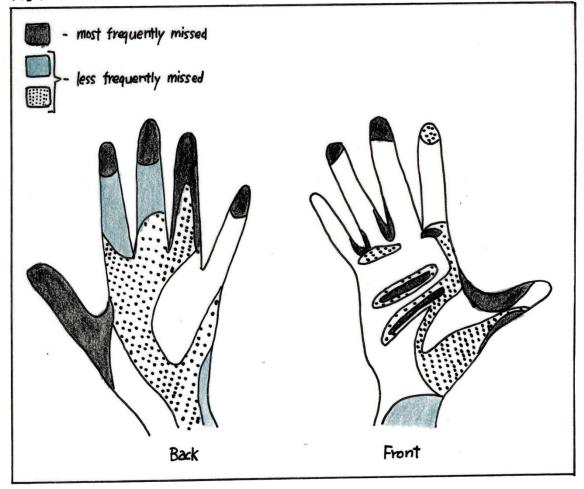
which are most likely to come

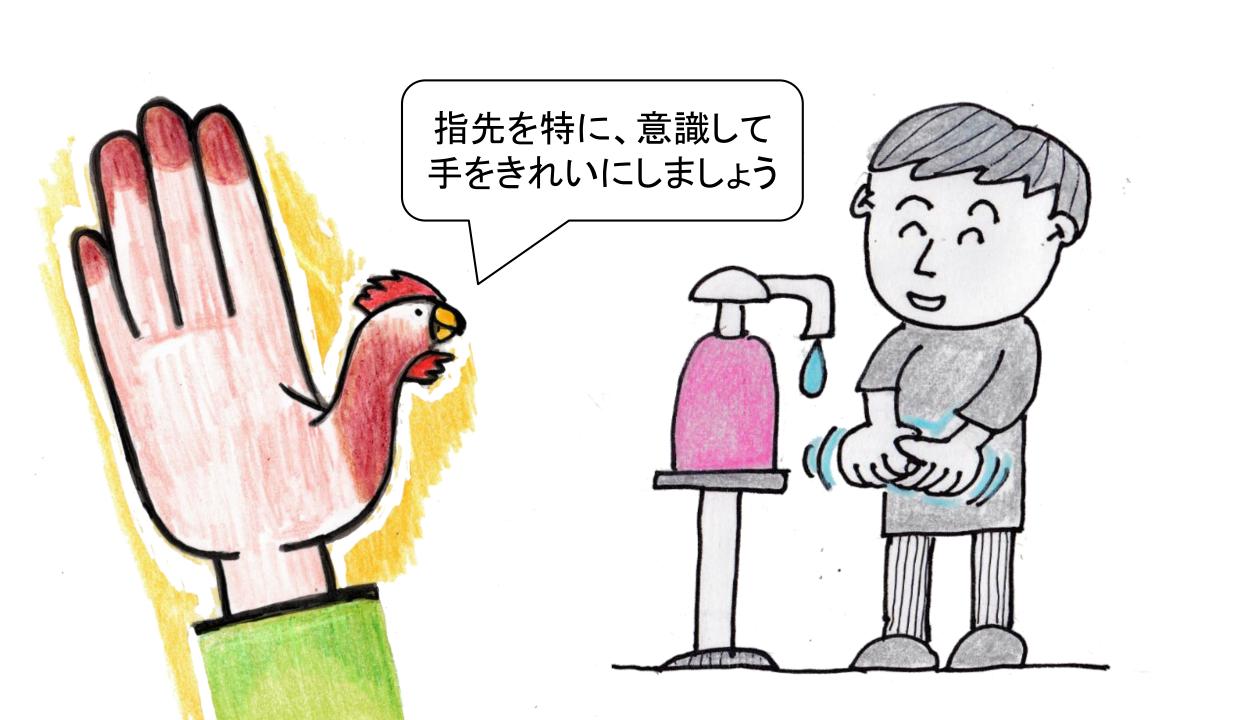
ing is evaluated under

40年前、イギリスの看護師さんが「手洗いの時、どこが 忘れやすいか」という、たった1頁半だが、画期的な論文 を書いています。

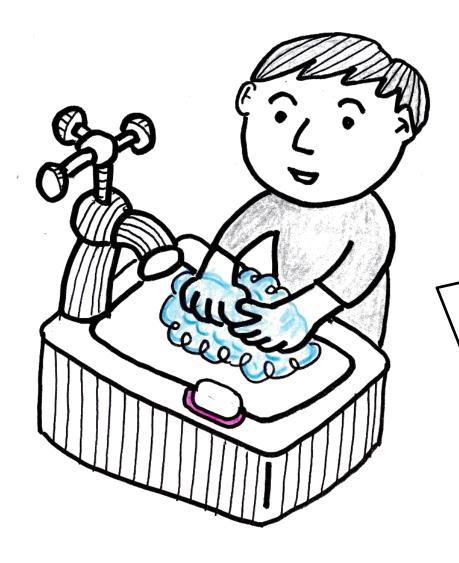
これが現在の手洗い指導時の根拠となっています。

Fig 1. Distribution of areas missed during hardwashing

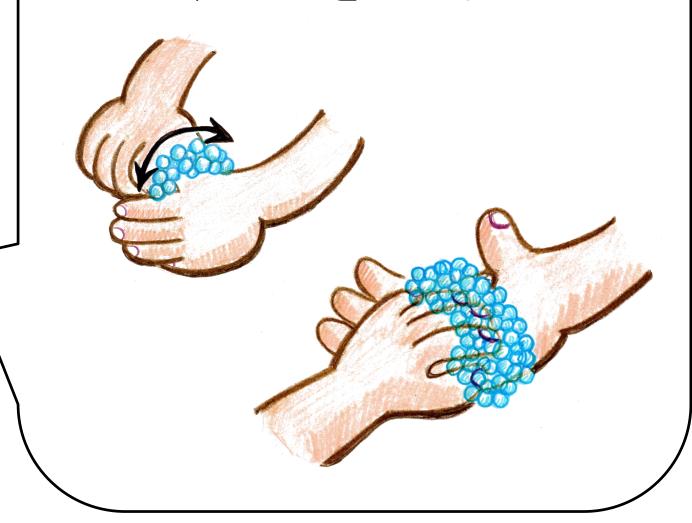








指先や親指をきれいに することを忘れない



換気

カラオケ店「ころな」は、ハイリスク!

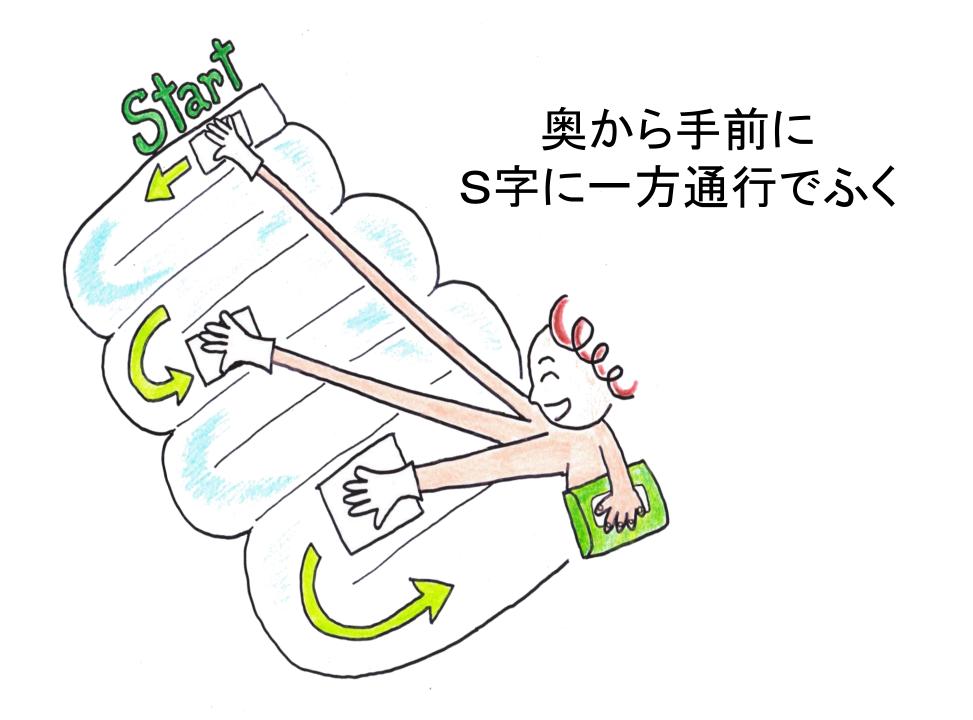


身の回りの消毒









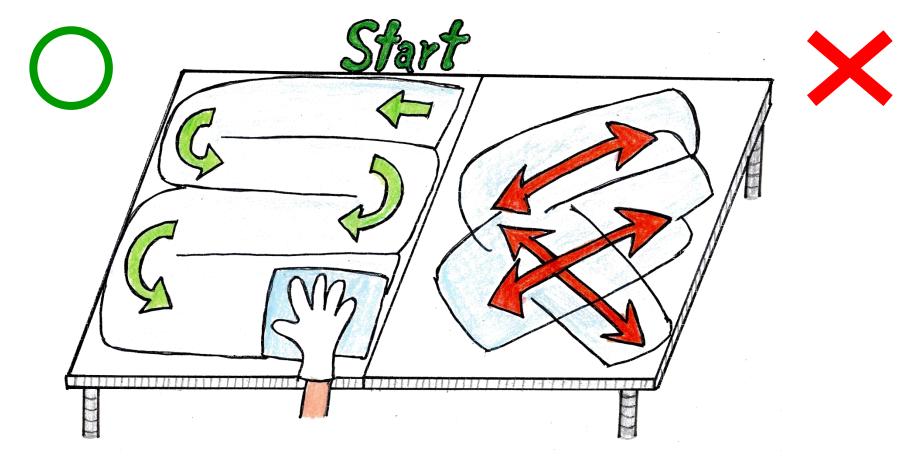
そうじの3原則

- ① 上から 下へ
- ② 奥から 手前へ
- ③ きれいな所から 汚れたところへ



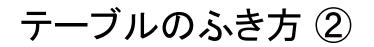


テーブルのふき方 ①

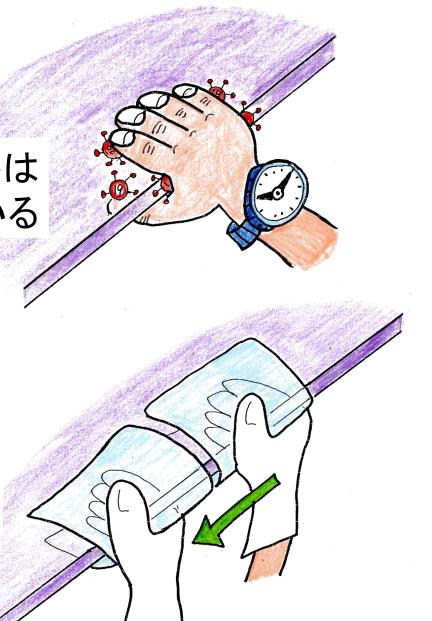


奥から手前に一方通行でS字でふく

往復ワイパー式はダメ。 汚れを右往左往するだけ



テーブルは 側面も裏面も汚れている



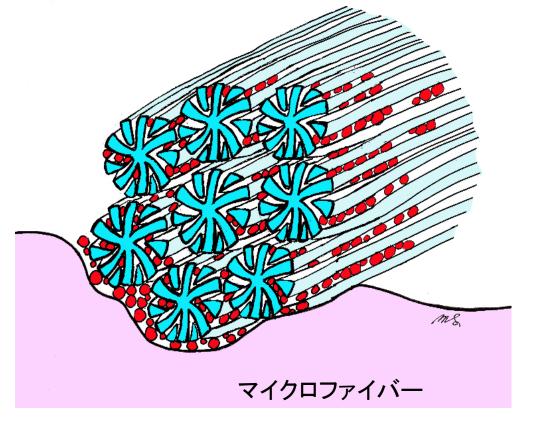
消毒の最後に・・・ 親指を上にして 向こうから手前にふく

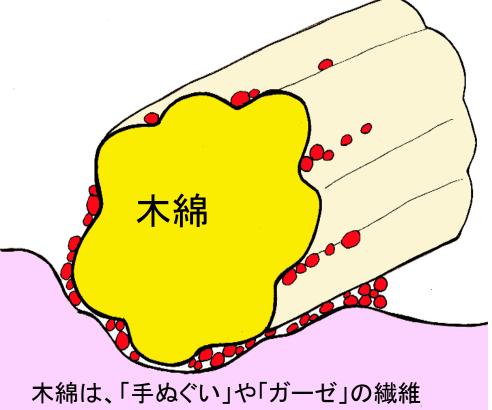
お勧めのクロス(布)は マイクロ・ファイバー・クロス

100円ショップでも 売っています



マイクロファイバーは、髪の毛の100分の1の太さの合成繊維で木綿と比べて、断面にはたくさんの溝があり、「ほこり」と「水」を良く吸着します。おまけに、すぐ乾きます







薬液を

吸入して

体に良くない

薬液をクロスに噴霧する

対象物に直接噴霧する

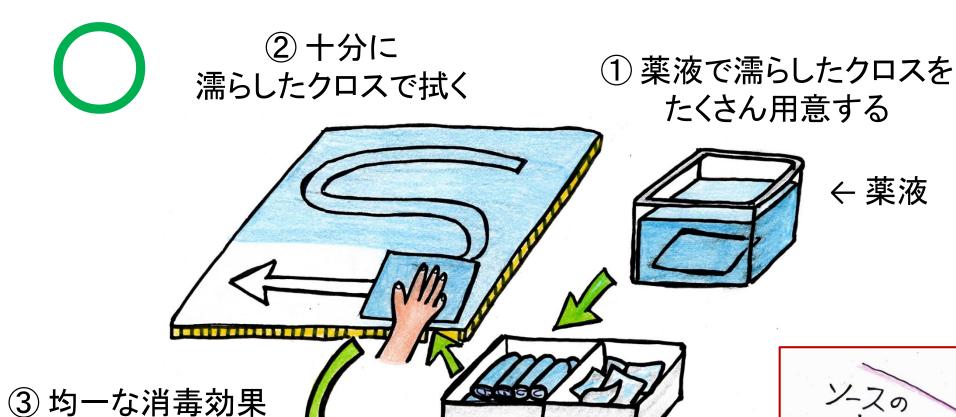








消毒効果が不均一になってしまいます



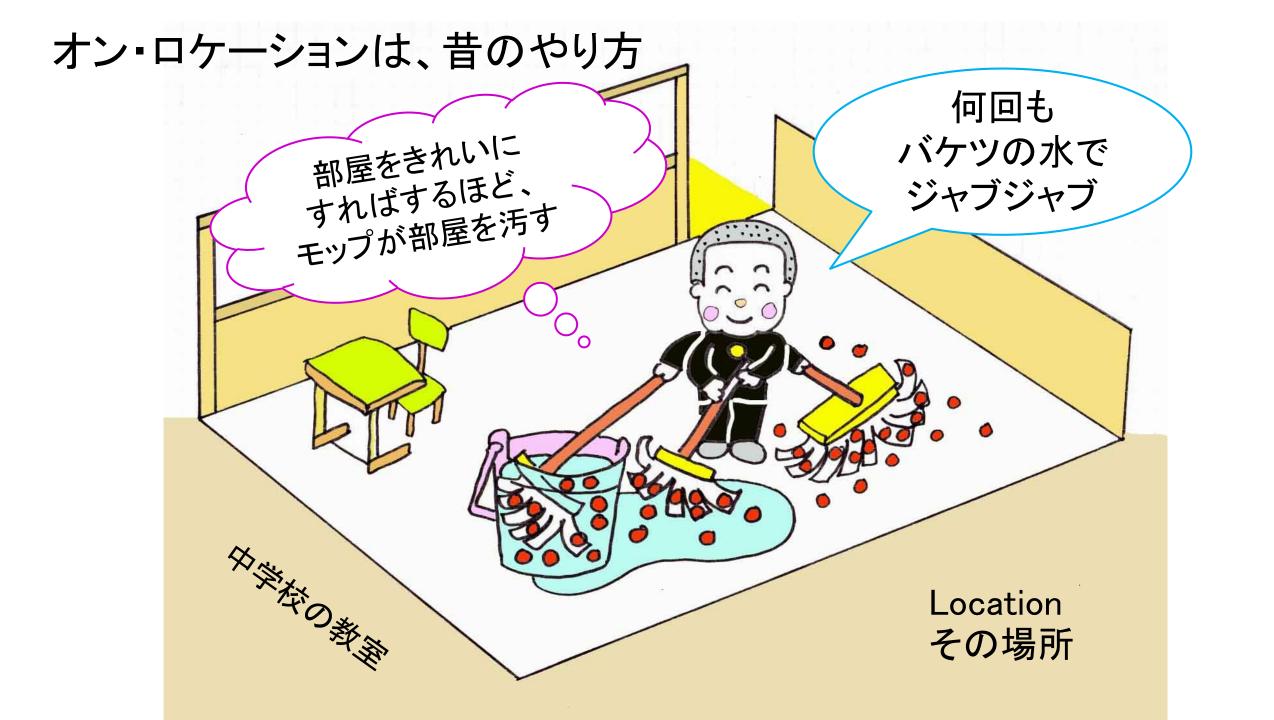
を得ることができる

④ 一定の面積を拭いたら 次の新しいクロスと交換する

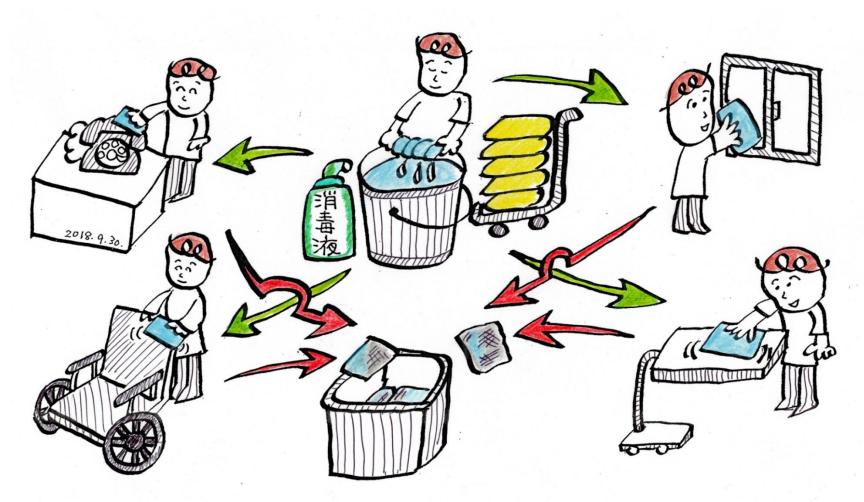


オン・ロケーション方式(二度漬け式)ではバケツの消毒液がどんどん汚れていきます





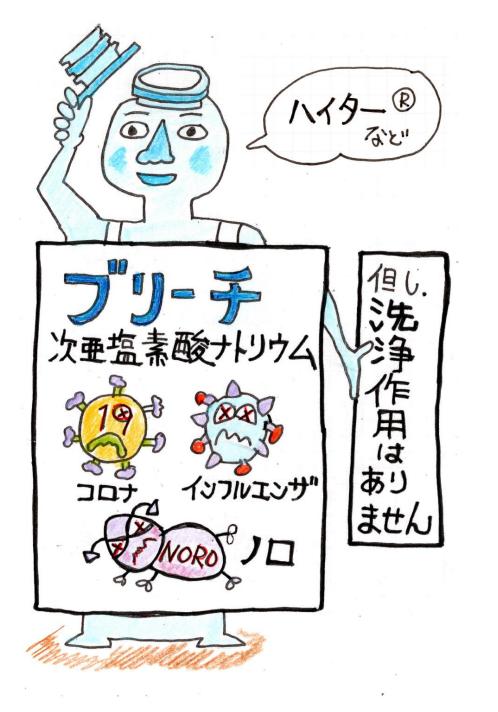
汚れたクロスは、その場を離れて、洗濯機へ (オフ・ロケーション方式)

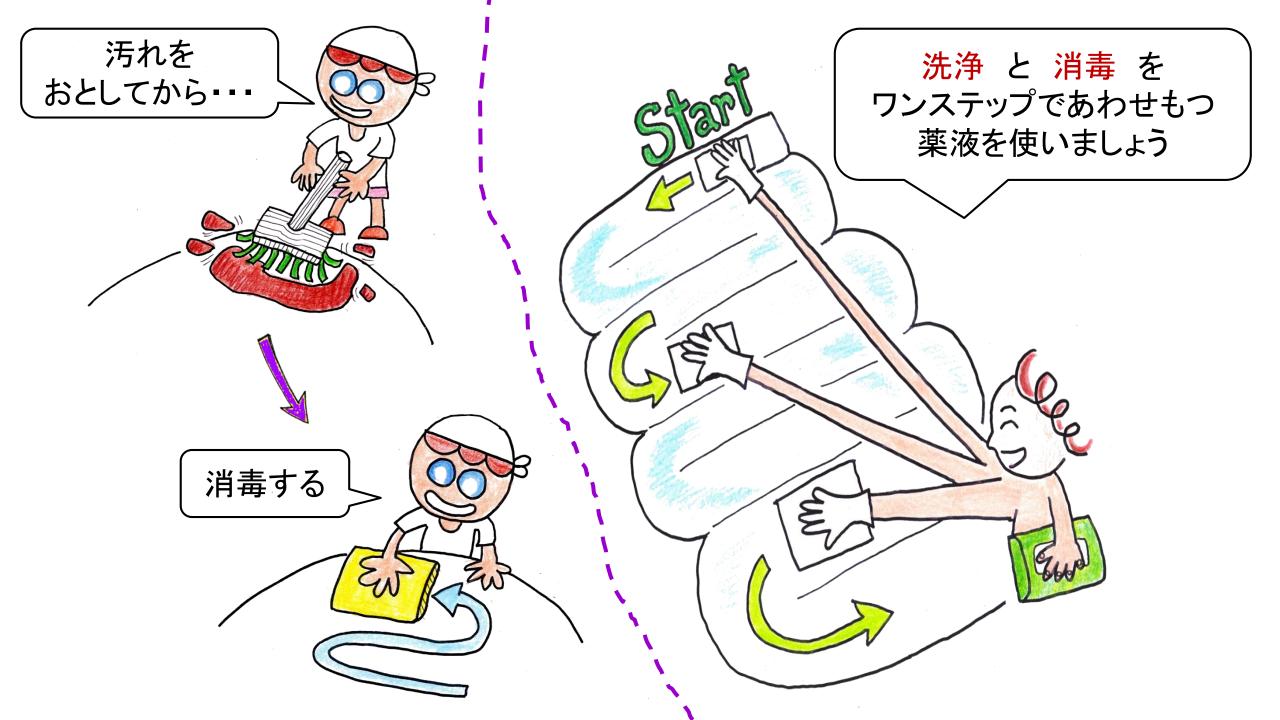


クロスの回収ボックス

二人とも 消毒はできますが 汚れはおちません







コロナ対策の順番

4 基本的に大事なる人のと 手洗り







部屋をよく換気して、マイクロ飛沫 を吹き飛ばしましょう。



4) せっしょくかんせん 了手洗()。環境の消毒



つのナ対策じゆんば心

3 換気





環境の消毒



児童・生徒と教員、そして父兄など、すべての人が 感染対策の知識や認識を共有することが大切です



おわり

コロナ本 宣伝のページです





